

令和6年度 電波利活用セミナー プログラム

日時：令和7年1月17日（金）13:30～16:30

会場：博多バスターミナル 9階大ホール

時間	次第	講師
13:30	開会挨拶	九州総合通信局長 中西 悦子
13:35	講演1 「電波政策の最新動向」 デジタルビジネス拡大に向けた電波政策懇談会報告、周波数再編アクションプランや5Gの普及促進方策など、電波政策の最新動向について講演	総務省総合通信基盤局電波部 電波政策課長 中村 裕治
14:15	講演2 「5.9GHz帯 V2X システムの研究開発動向」 自動運転実現のカギを握る V2X(注1)に関する研究開発動向について講演	シャープ株式会社 研究開発本部 通信・映像標準技術研究所 課長 横枕 一成 氏
14:55	休憩(10分間)	
15:05	講演3 「ドコモグループの非地上系ネットワーク (NTN) の取組み」 ドコモグループが進める「NTN」(注2)の最新の取組みと今後の展開について、そしてその中でも注目されている「HAPS」(注3)の実用化に向けた取組みについての講演	株式会社NTTドコモ ネットワーク部 NTN 推進室 担当部長 白井 亮 氏
15:45	講演4 「サイバーフィジカルシステムを利用したワイヤレスエミュレータによる電波ビジネスの拡大」 令和2～5年度にかけて研究開発がすすめられたワイヤレスエミュレータについて、その概要とワイヤレスエミュレータの活用によるビジネス創出の可能性について講演	京都大学 大学院情報学研究科 教授 原田 博司 氏
16:25	閉会	

(注1) V2Xとは「Vehicle to everything」の略で、車と様々なモノとの通信を行う技術です。

(注2) NTNとは、「Non-Terrestrial Network」の略で、空・海・宇宙に至るすべてを多層的につなげる移動通信ネットワークです。

(注3) HAPSとは、「High-Altitude Platform Station」の略で、高度約20kmの成層圏を飛行する基地局との間で通信サービスを提供するプラットフォームです。